

参考1 「千葉県農林水産業部門別計画」施策指標の達成状況

平成24年度末現在

全体目標	策定時	H24年度末	目 標
農業産出額	3位	4位(H23)	2位
海面漁業漁獲量	7位	7位	6位

【園芸振興計画】

目 標	策定時	H24年度末	目 標
園芸産出額(野菜、果樹、花き)の全国第1位奪還	2位	2位	1位
いも類産出額の全国第3位の堅持	3位	3位	3位

取組の 基本方向	推進方向及び対策		施策の達成度を測る指標					
			項 目	策定時 (A)	H24年度末 (B)	達成度進捗 B/C(%)	目 標 (C)	
1 生産性向上 と経営安定に 向けた園芸生 産基盤の強化	(1)高品質・安定生 産・高所得農業を 目指した施設園芸の 推進	ア ビニールハウス等施設化の推進	施設面積(ha)	2,063	国の調査が行われていない ため、把握できない	2,085		
		イ 養液栽培等の栽培施設の高度化						
		ウ 温室等のリフォームの推進						
		エ 省エネルギー対策の推進					養液栽培面積(ha)	99
	(2)露地野菜を中 心とした機械化等 による経営規模拡大 の推進	ア 機械の導入による省力化・低コスト化の 推進と耕作放棄地の活用	露地野菜2000万円以上販 売の経営体数(経営体)	542	809	107.9	750	
		イ 農地流動化の推進						
		ウ 畑地整備の推進						
		エ 地域版雇用活用システムの推進						
	(3)高品質・安定生 産技術による既存 産地の強化・再生	ア 生産技術の改善・向上	主要野菜の単収増加 (kg/10a)	2,520	2,458	96.4	2,550	
			野菜作付面積(ha)	31,270	30,250	96.6	31,300	
			梨の改植面積(ha)	55	151	100.7	150	
			梨作付面積(ha)	1,720	1,690	98.3	1,720	
			花き類の県内育成品種登 録数	135	193	96.5	200	
		イ 新品種の開発・普及	花き作付面積(ha)	896	866	96.2	900	
		ウ 有害鳥獣被害防止対策の推進	有害鳥獣による果樹・野菜・ いも類の被害額(百万円)	196	223	84.3	188	
2 新鮮で高品 質な園芸産品 を届ける流通 の改善	(1)鮮度保持・選果 機能を持つ集出荷 貯蔵施設の高度化・ 大型化の推進	ア 集出荷貯蔵施設の高度化・大型化	集出荷貯蔵施設の整備・ 再整備数	1	7	233.3	3	
		イ 既存集出荷施設の再整備						
3 マーケット 需要への対応 とニーズを創 造する産地づく り	(1)卸売業者のコー ディネート機能を生 かした競争力のある 産地づくり	ア 契約取引の推進	野菜の共販率(主要野菜3 0品目)(%)	43	45	102.3	44	
		イ 産地強化(再編)計画の策定と実践	野菜指定産地の野菜共販 出荷量(千トン)	275	261	91.6	285	
	(2)加工・業務需要 に対応した産地の 育成	ア 適品種の選定、栽培技術の確立・普及	主要野菜の加工・業務向 け出荷量(t)	18,248	21,991	90.9	20,000	
		イ 販路開拓、実需者との直接取引推進						
	(3)新品目の導入・ 輸出等の新たな取 組による産地の活 性化	ア 新品目等の導入による産地の活性化	園芸作物(植木他)の輸出 金額(億円)	25	34	121.4	28	
		イ 6次産業化の取組等による新たな産地づくり						
	(4)直売・観光農業 等の推進	ア 直売施設・観光農業施設等の整備	主要農産物直売所の園芸 作物販売金額(億円)	99	124	121.6	102	
		イ 地域資源の活用とPR						
	4 環境にやさ しく消費者に信 頼される園芸 生産	(1)ちばエコ農業等 の環境に配慮した 農業の推進	ア 環境にやさしい農業の取組拡大	園芸作物のちばエコ農産 物栽培面積(ha)	1,942	1,870	85.0	2,200
			イ 農業生産工程管理システム等の啓発、 推進	農業安全使用研修受講者 数(人)	882	3,541	168.6	2,100
(2)園芸廃棄物の 適正処理等による 環境汚染防止対策 の推進		ア 廃プラスチック等廃棄物の適正処理の推 進	園芸用廃プラスチックの回 収処理量(t)	3,038	2,754	91.8	3,000	
		イ 農薬飛散防止等の環境対策の推進						

【農産振興計画】

目 標	策定時	H24年度末	目 標
県が育成した「ふさおとめ」「ふさこがね」の作付割合を高めます(%)	24.0	23.7	30.0
新規需要米の作付面積(ha)	364	1,109	1,800
落花生の作付面積は現状を確保します(ha)	5,690	5,450	5,700

取組の 基本方向	推進方向及び対策		施策の達成度を測る指標				
			項 目	策定時 (A)	H24年度末 (B)	達成度進捗 B/C(%)	目 標 (C)
1 早場米産地の競争力強化と低コスト化の推進	(1) 県育成品種の「ふさおとめ」「ふさこがね」の作付拡大と知名度の向上	ア 地域に適応した品種構成への誘導	種子更新率(%)	83.0	84.4	99.3	85.0
		イ 品質安定のための栽培技術の励行					
		ウ ちばエコ米栽培等環境にやさしい米づくりの推進					
		エ 優良種子の安定生産と全量種子更新の励行					
		オ 食味の良い極早生品種等の育成					
	カ 県産米諸費拡大運動の推進	ちばエコ米栽培面積(ha)	2,507	2,308	85.5	2,700	
	(2) 生産基盤の整備と担い手・営農組織の育成	ア 土地基盤整備の推進	基盤整備率(%)	54.7	55.5	98.9	56.1
		イ 担い手や集落営農組織の育成と農業用基幹施設の整備	集落営農組織数	268	246	87.9	280
		ウ 省力・低コスト生産技術の普及	担い手への農地の利用権設定等面積(ha)	13,358	15,974	106.1	15,050
			湛水防除事業整備完了地区面積累計(ha)	609	3,100	89.6	3,459
ため池等整備完了地区面積累計(ha)			699	704	88.6	795	
2 水田を有効利用した食料自給力の強化	(1) 飼料用米などの新規需要米の生産拡大	ア 飼料用米、WCS用稲の生産体制の確立	事業により整備したフレコン出荷施設(箇所)	0	11	42.3	26
		イ 飼料用米利用者協議会設置の推進					
		ウ 飼料用米、米粉用米の流通体制の整備					
		エ 調整水田や耕作放棄地等の活用推進					
	(2) 水田の団地化による麦・大豆の高品質・安定生産の推進	ア 土地利用調整などによる団地化と営農集団の育成支援	(農林61号)	(農林61号)		(さとのそら)	
		イ 小麦の品種転換の推進	小麦の作付品種の転換及び作付面積(ha)	444	465	86.1	540
		ウ 大豆300A技術の励行	大豆の作付面積(ha)	718	588	76.4	770
(3) 有害鳥獣被害防止対策の実施	ア 有害鳥獣被害防止対策の実施	有害鳥獣による稲・麦・豆類の被害額(百万円)	112	103	100.0	103	
	(1) 落花生の生産振興	ア 落花生の機械化の推進	千葉半立の作付面積(ha)	3,664	3,362	93.4	3,600
イ 新たな乾燥技術の開発							
ウ 収益性の向上を目指す産地の支援							
エ ゆで落花生用品種「おおまさり」等のブランド化の推進		ナカテユタカの作付面積(ha)	1,605	1,668	104.3	1,600	
オ 優良種子の確保		郷の香の作付面積(ha)	159	240	120.0	200	
カ 保存性と食味に優れた新品種の育成		おおまさりの作付面積(ha)	40	27	13.5	200	
(2) 畑作麦の生産振興		ア 製パンに適する小麦品種の導入支援	麦(畑)の作付面積(ha)	211	224	97.4	230

【畜産振興計画】

目 標	策定時	H24年度末	目 標
畜産産出額の拡大を図ります(億円)	1,033	1,034	1,057

取組の 基本方向	推進方向及び対策	項 目	施策の達成度を測る指標				
			策定時 (A)	H24年度末 (B)	達成度進捗 B/C(%)	目 標 (C)	
1 生産性向上・経営安定のための生産基盤の強化	(1)乳牛の個体能力の改良等による高品質牛乳生産体制の整備	ア データに基づき自ら乳牛改良に取り組める酪農経営の育成	乳牛1頭当たり乳量(kg)	8,500	8,570	99.1	8,650
		イ 能力の高い乳牛の増殖の加速化					
	(2)和牛生産基盤の強化による優良和牛の生産拡大	ウ 酪農農業協同組合の再編整備による支援体制の強化	酪農協の再編整備(酪農協)	14	13	7.7	1
		ア 優良な遺伝能力を持つ繁殖和牛の増頭	繁殖和牛の頭数(頭)	1,850	2,570	102.8	2,500
	イ 和牛繁殖経営の多様な担い手の確保						
	(3)改良による肉豚の生産性向上及び経営の安定化	ア 千葉県オリジナル優良種豚の造成・普及拡大					
イ セーフティネット機能による養豚経営の安定化							
(4)養鶏経営安定対策の推進	ア 計画的な鶏卵生産の推進	採卵鶏成鶏雌羽数(万羽)	969	913	94.1	970	
2 自給飼料の生産拡大による飼料自給率の向上	(1)水田等の活用、飼料畑での生産強化による飼料自給率の向上	ア トウモロコシ等高収量作物の生産基盤強化	粗飼料自給率(%)	33	33	86.8	38
		イ 飼料用米、稲ホールクroppサイレージの生産利用拡大	飼料用米利用面積(ha)	126	1,109	73.9	1,500
		ウ 低利用飼料資源の有効活用					
	(2)自給飼料生産組織の強化	ア 飼料生産コントラクター等の普及拡大による生産コストの低減	飼料生産コントラクター数(組織)	8	29	241.7	12
		イ 発酵TMR技術を活用した飼料生産流通組織の育成	うち発酵TMR生産組織数	0	0	0.0	1
3 県産畜産物の魅力発信	(1)県産畜産物の知名度向上	ア 県産豚肉の知名度向上	ダイヤモンドボーク取扱認定店舗数(店舗)	8	8	66.7	12
		イ 県産牛肉の知名度向上	県産牛肉の商談会への出展数(銘柄)	3	2	33.3	6
4 家畜排せつ物の適正管理と有効利用	(1)家畜排せつ物の適正な管理	ア 簡易施設の恒久施設化	恒久施設への誘導戸数(戸)	-	8	26.7	30
		イ 周辺環境改善並びに既存施設の機能向上					
	(2)家畜ふん堆肥の利用拡大と流通促進	ア 利用しやすい家畜ふん堆肥の生産	堆肥散布・利用集団の育成(集団)	39	65	103.2	63
イ 飼料生産拡大等による堆肥利用率の向上							
5 家畜衛生対策の強化	(1)家畜疾病対策の強化	ア 慢性伝染性疾病の清浄化による生産性の向上					
		イ 急性悪性伝染病に対する危機管理体制の強化					

【森林・林業振興計画】

目 標	策定時	H24年度末	目 標
計画的かつ効率的な森林整備を進めます(ha)	1,573	1,105	1,700
木材利用量を10%上昇させます(千m ³)	75	63	83

取組の 基本方向	推進方向及び対策	施策の達成度を測る指標					
		項 目	策定時 (A)	H24年度末 (B)	達成度進捗 B/C(%)	目 標 (C)	
1 森林・林業 再生による森 林機能の維持 増大	(1)計画的かつ効 率的な森林整備の 推進	ア 森林施業計画の策定支援と森林情報シ ステムの構築	森林施業計画策定面積 (ha)	10,255	11,680	92.7	12,600
		イ 森林整備の推進					
		ウ 路網整備・高性能林業機械の活用					
		エ 森林の更新に必要な優良種苗の確保					
	(2)木材資源の利用 促進(森林資源の 循環利用)	ア 県産木材を利用した木造住宅への支援 等					
		イ 公共建築物等における県産木材の利用 促進					
		ウ 木材利用の普及啓発					
	エ 特用林産の振興						
	(3)森林吸収源対 策としての間伐の推 進	ア 千葉県森林吸収量確保推進計画達成の ための間伐の実施	間伐実施面積(ha) (H19からの累積)	2,666	5,503	76.4	7,200
2 森林・林業 を支える多様 な担い手の確 保・育成	(1)森林・林業を支 える担い手の確保・ 育成	ア 林業就業者に対する研修の実施	新規就業者数(人)	7	3	15.0	20
		イ 森林所有者に対する森林の管理・経営 情報の提供					
		ウ 林業・木材産業・木材流通業を担う林業 従事者等への資金の貸付					
	(2)法人等による森 林整備の促進	ア 法人の森制度の活用	法人の森協定数(累積) (件)	18	24	80.0	30
	(3)森林・林業教育 の推進	ア 教育機関との連携による「教育の森」の 利用促進	教育の森利用者数(人)	8,438	2,362	26.2	9,000
		イ 「みどりの少年団」の育成					
3 多様な人々 の参画による 里山地域の活 性化と森林の 活用	(1)里山地域の活 性化と森林の活用	ア 多様な主体の参画と連携・協働	里山活動協定数(累積) (件)	112	122	70.1	174
		イ 里山の新たな活用の促進					
		ウ 市町村との連携による里山モデル地域 の整備					
	(2)県民の森の管 理と利用促進	ア 指定管理者による適切な管理の確保	県民の森利用者数(万人)	98	95	95.0	100
		イ 利用者の安全確保のための計画的補修					
		ウ 「県民の森のあり方」の検討					
4 災害や病害 虫等に強い森 林づくりの推 進	(1)森林の整備や 防災施設の設置に よる土砂崩れ等の 防止	ア 山地治山対策の推進	山地災害危険地区の防災 工事着工箇所数 (累積)(箇所)	1,317	1,332	99.8	1,335
		イ 保安林の公益的機能を高度発揮するた めの森林整備の実施					
	(2)海岸を中心と した保安林の整備・管 理	ア 海岸保安林における松くい虫防除対策 の徹底と被害跡地の森林再生	海岸保安林再造成面積 (ha)	0	58	128.9	45
	(3)森林病虫害の 防除と被害林の再 生	ア 非赤枯性溝腐病被害跡地における森林 再生の促進	非赤枯性溝腐病被害林等 の再生面積(累計)(ha)	30	50	41.7	120
		イ スギカミキリ被害対策の推進					
	(4)林地開発行為 の適正化	ア 林地開発適正化条例の周知徹底と開発 行為の適正な履行の確保					

【水産振興計画】

目 標	策定時	H24年度末	目 標
海面漁業漁獲量20万トン(全国順位第6位)(万トン)	19.1	15.4	20.0

取組の 基本方向	推進方向及び対策		項 目	施策の達成度を測る指標			
				策定時 (A)	H24年度末 (B)	達成度進捗 B/C(%)	目 標 (C)
1 豊かな海づくり	(1)水産資源の管理及び維持・拡大	ア 水産資源の適切な管理	種苗放流による増殖量 (アワビ、マダイ、ヒラメ)(トン)	133	149	104.2	143
		(ア)資源管理の推進と定着					
		(イ)漁業制度の適正な運用					
		イ 種苗の生産・放流の推進					
		ウ 東京湾貝類資源の緊急増産対策					
		エ 生産性の高い漁場の整備					
	オ 干潟・浅海域の環境生態系の保全対策	環境・生態系保全活動グループ数	3	15	125.0	12	
	(2)消費者ニーズに対応した養殖業の振興	ア ノリ養殖対策	1経営体当たりのノリ生産枚数(万枚)	110	113	94.2	120
		イ 魚介類養殖対策					
(3)豊かな漁場環境の保全と回復	ア 漁場環境の調査・監視と保全対策	ノリ漁場監視回数(述べ日数)	280	322	89.4	360	
	イ 三番瀬漁場の生産力の回復						
2 たくましい漁業づくり	(1)漁業生産基盤強化と漁業経営の強化	ア 漁業生産基盤の整備	耐震強化岸壁整備実施港(港)	1	2	66.7	3
		(ア)漁港、市場機能の充実					
		(イ)漁港施設の効率的な維持補修					
		イ 操業の安全確保と省エネ化対策					
		(ア)操業安全の確保					
		(イ)漁場操業の効率化対策					
		(ウ)東京湾漁業の操業安全の確保と効率化対策					
		ウ 沿海漁業協同組合の経営安定					
		(ア)指導体制の強化					
		(イ)漁協の事業の合理化と組織再編					
	(ウ)経営管理者の育成	漁況情報(種類)	4	4	80.0	5	
	(2)水産業を支える多様な担い手確保・育成	ア 担い手育成・新規就業者対策	新規就業者数(人)	50	54	90.0	60
		イ 漁業金融支援					
ウ 漁業所得補償制度運用支援							
エ 漁船漁業の経営合理化対策							
3 水産物流通・加工対策の推進	(1)水産物の販売促進	ア 「食の宝庫ちば」のファンづくりの推進	千葉ブランド水産物(水産加工品・ふるさと品)認定後の販売実績向上率(%)	56	56	93.3	60
		イ 流通体制の強化・販路拡大					
		ウ 売れるものづくりへの多様な支援					
	(2)水産物の高付加価値化と水産加工業の生産性向上	ア 地域の特性を生かした加工品の開発支援	水産加工業者による品質向上のための公開型研究施設の利用件数(件)	50	55	91.7	60
		イ 加工場・加工製品の衛生管理の高度化					
4 河川・湖沼での特色ある水産業の展開	(1)内水面漁業・養殖業の振興	ア 内水面水産資源の増大	種苗放流量(t)	14	13	93	14
		イ 特産品づくりの推進					
		ウ 各種疾病の防疫対策					
	(2)河川・湖沼の漁場環境の保全	ア 水辺環境の再生と保全					
		イ 外来漁等の対策					
5 漁村の活性化	ア 千葉の海と漁村の魅力発信	ホームページ	20	20	87.0	23	
		イ 適切な海面利用の遵守指導の徹底					「千葉のさかな倶楽部」アクセス件数(万件)
		ウ 漁港関連施設の活用と安全安心な漁村づくり					「夏休み『千葉の海』丸ごと満喫キャンペーン」参加直売所の利用客数(万人)

【担い手育成計画】

目 標	策定時	H24年度末	目 標
農業の新たな担い手を確保します(人/年)	321	416	400
企業的な農業経営体を育成します(経営体)	1,168	1,168(H22)	1,250
地域農業を支える組織を育成します(組織)	268	246	280

取組の 基本方向	推進方向及び対策		施策の達成度を測る指標				
			項 目	策定時 (A)	H24年度末 (B)	達成度進捗 B/C(%)	目 標 (C)
1 農業の新たな担い手の確保・育成	(1)担い手育成の中核的機能を発揮する千葉県農業大学校	ア 専修学校化	新規学卒就農者数(人)	72	63	63.0	100
		イ カリキュラムの見直し	離職就農者数(人)	136	138	92.0	150
		ウ 教育・研修環境等の整備	新規参入者数(人)	113	215	143.3	150
	(2)就農に向けた情報の発信	ア 新規就農希望者等に対する情報発信の充実					
		イ 就農相談の支援					
	(3)新規就農者への支援	ア 「産地」の維持・発展を図るための就農支援					
		イ 新規就農・定着の支援					
		ウ 法人等への雇用就農の促進					
	(4)法人等の農業算入支援	ア 地域と連携した算入支援の展開					
		イ 農業算入に必要な機械施設の整備支援					
2 千葉県を牽引する企業的経営体の育成	(1)担い手の経営発展支援	ア 認定農業者等の経営改善を支援	認定農業者数(人・法人)	7,256	7,181	89.8	8,000
		イ アグリトップランナーの育成					
		ウ 法人化の推進による経営向上	うち女性(人)	357	455	75.8	600
		エ 女性の担い手の育成	女性起業家数(グループ・人)	404	465	98.9	470
		オ 経営改善に必要な機械施設の整備支援	農業生産法人数(法人)	239	320	118.5	270
			農地の利用権設定等面積(ha)	13,358	15,974	106.1	15,050
	(2)生産組織の強化						
	(3)農地の効率的利用等の促進	ア 農地利用集積の促進					
		イ 農業用施設の効率利用					
	(4)経営の多角化の支援	ア 地域資源を生かした商品開発・販路開拓の促進					
3 地域農業を支える組織の育成・整備	(1)集落営農の推進	ア 集落営農組織等の育成、地域住民との連携促進	農業用機械を共同所有し作業を受委託する集落営農組織数	62	72	110.8	65
	(2)高齢者や小規模農家等の活動支援	ア 直売・起業等グループの育成	集落内の土地利用調整を実施する集落営農組織数	41	42	93.3	45
イ 個性的産地づくりの支援							
4 森林・林業を支える多様な担い手の確保・育成	(1)林業就業者に対する研修の実施		新規就業者数(人)	7	3	15.0	20
	(2)森林所有者に対する森林の管理・経営情報の提供						
5 水産業を支える多様な担	(1)担い手育成・新規就業者対策		新規就業者数(人)	50	54	90.0	60

【販売促進計画】

目 標	策定時	H24年度末	目 標
千葉県農林水産物の購入意欲を高めます(%)	76.5	78.5	高めます
千葉県農林水産物の輸出を促進します(億円)	100	116	115

取組の 基本方向	推進方向及び対策		施策の達成度を測る指標					
			項 目	策定時 (A)	H24年度末 (B)	達成度進捗 B/C(%)	目 標 (C)	
1 「食の宝庫ちば」のファンづくりの推進	(1)知事のトップセールスやメディアを活用した、農林水産物の県内外への魅力発信	ア 知事によるトップセールス						
		イ メディアの活用						
		ウ 体験を通じたPRと「食」関連イベントとの連携						
	(2)県内及び首都圏での千葉県フェア開催支援による産地間競争力の強化	ア 「農林水産物販売促進月間」の設定	スーパーマーケット、百貨店等における「千葉県フェア」への協力社数(社)	18	23	115.0	20	
		イ スーパーマーケットや生産者団体等と連携した「千葉県フェア」の開催	うち県内(社)	18	13	72.2	18	
			うち県外(社)	3	14	280.0	5	
	(3)生産者と消費者の交流による県産農林水産物の理解促進	ア 農林水産物直売所の販売促進と交流拠点としての機能強化	直売所入込客数	283	248	85.5	290	
		イ グリーン・フルーツリズムに係る地域の受入体制づくり	(千人/施設・年)					
		ウ 県産木材を利用した家づくりへの理解の促進						
	(4)食育活動等の推進	ア 食育活動の推進	食育に関心のある県民の割合(%)	76.2	72.4	80.4	90.0	
イ 木育活動の推進		木工出前授業実施学級数(学級)	9	25	75.8	33		
ウ 花育活動の推進		花とみどりのふれあい教室参加者数(人)	76	210	105.0	200		
2 流通体制の強化・販路拡大	(1)卸売業者と連携した市場販売力の強化	ア 卸売業者と連携したセールスプロモーションの実施	県産野菜類の出荷数量に占める東京都中央卸売市場への出荷比率(%)	25.3	25.4	97.7	26.0	
		イ 県内卸売市場の活性化						
		ウ 県産農林水産物に対する多様な需要に応える流通体制の整備						
	(2)商品の付加価値を高める流通体制の強化	ア 朝揚げ水産物直送システムの拡大	朝揚げ水産物直送システムの取扱量(トン)	149			業者間の独自の取組により直売ルートが確立されたため、積極的な県の関与が不要となった。	160
		イ 朝採り農産物等の販売に向けた取組検討						
		ウ 集出荷・流通システムの整備						
		エ 水産物の産地市場における品質管理の高度化						
	(3)商談会の開催等による多様な販売チャンネルの開拓	オ JAS法に基づく食品表示の適正化の推進	園芸作物の集出荷貯蔵施設の整備・再整備数(箇所)	1	7	233.3	3	
			商談件数(件)	294	323	97.0	333	
			うち県主催商談会(件)	294	283	89.8	315	
(4)県産木材の販路拡大	ア 県産木材の利用促進	県産木材の利用量(千m3)	75	63	75.9	83		
	イ 事業者間の情報交換等の促進							
3 売れるものづくりへの多様な支援	(1)地域活性化につながる多様なブランド化の推進	ア 地域における農産物のブランド化への支援	地域ブランド化に取り組む地域数(地域)	—	6	200.0	3	
		イ 千葉ブランド水産物の認定	千葉ブランド水産物認定後の販売実績向上率(水産加工品・ふるさと品)(%)	56	56	93.3	60	
	(2)県産成品種等を活用した県独自の商品づくり	ア 県産成品種等の普及と集中的なプロモーションによる販路拡大	おおまきり取扱店舗数(店舗)	8	8	66.7	12	
		イ 県産食肉の生産基盤の強化と販売促進	ダイヤモンドポーク取扱店舗数(店舗)					
		ウ 低利用水産物の利用促進						
	(3)加工・販売等を行う生産者・生産者組織の支援	ア 6次産業化への取組支援	商品開発取組数(件)	31	86	143.3	60	
		イ 生産者自らが取り組む販売促進活動への支援						
		ウ 低利用水産物の利用促進						
(4)6次産業化等による新品種開発・支援								
(5)中食・外食産業等の需要拡大に対応した取組支援		主要野菜の加工・業務向け出荷量(トン)	18,248	21,991	110.0	20,000		
4 新たな販路開拓を目指す輸出の促進	(1)輸出に取り組む生産者・団体の育成支援	ア 産地と海外市場のマッチングの推進	県産農林水産物の輸出に取り組む生産者団体等(社・団体)	48	30	54.5	55	
		イ 新たな販路の開拓						
		ウ 海外マーケット等の情報収集及び生産者への情報提供						
	(2)輸出方法の改善等を通じた輸出環境の整備	ア 個別品目ごとの技術開発、認証取得の推進	輸出に対応する技術開発、施設整備等の事例(件)	—	1	33.3	3	
		イ 植木の検疫対策、新技術開発の推進						
		ウ 海外における商標登録等の事前調査と取得推進						
	(3)輸出促進に向けた積極的な販売促進活動の実施	ア 海外における千葉県産農林水産物のPR	海外展示会、商談会、フェア等での県産農林水産物のPR回数(回/年)	3	3	100.0	3	
		イ 海外における販売コーナーの確保						
		ウ 輸出促進ツールの拡充						